

野菜の需給・価格動向レポート(平成23年9月5日版)

1 主要野菜の生産出荷状況

種類	8月の価格動向				生育及び価格の9月の見通し			
	(参考) 保証基準額の 算定の基となる 平均価格	指定野菜の関東・近畿ブロック旬別平均販売 価格						
		上旬	中旬	下旬				
葉 茎 菜	キャベツ	74.19	55	51	69	・入荷見込量: 16,448t (105) ・主産地: 群馬(81)、岩手(10)、北海道(4)	・群馬産は生育が順調で、潤沢な出荷となっている。今後も順調な出荷の見込み。岩手産は曇雨天の影響で少なめの出荷となっており、上旬までは少なめの見込み。 ・群馬産の出荷が順調なことから、価格は弱含みで推移する見込み。	
		93.59	56	48	76	・入荷見込量: 3,500t (100) ・主産地: 群馬(71)、長野(26)		
	ねぎ (関東: 白ねぎ、 関西: 青ねぎ)	273.33	240	327	342	・入荷見込数量: 4,434t (103) ・主産地: 青森(35)、秋田(15)、北海道(13)、山形(8)、茨城(7)、輸入(6)、岩手(4)	・青森産は生育が回復し順調な出荷となり、今後も平年並みの出荷が続く見込み。秋田産も、ほぼ平年並みの出荷となっている。 ・順調な出荷が見込まれることから、価格は平年並みに推移する見込み。	
		512.77	352	390	376	・入荷見込数量: 220t (137) ・主産地: 香川(28)、大阪(24)、奈良(13)、徳島(12)、三重(6)		
	はくさい	82.17	54	57	60	・入荷見込量: 9,036t (103) ・主産地: 長野(91)	・長野産は、長雨と日中の気温の上昇で一部病害が発生しているが、全体的には潤沢な出荷となっており、今後も潤沢な出荷の見込み。 ・需要が減退している中で潤沢な出荷が見込まれるため、価格は平年を大きく下回って推移する見込み。	
		98.58	51	53	56	・入荷見込量: 3,500t (115) ・主産地: 長野(99)		
	ほうれんそう	583.95	567	564	692	・入荷見込量: 827t (103) ・主産地: 群馬(30)、栃木(28)、茨城(17)、岩手(11)	・群馬産は産地の切り替わりの時期に当たり、中旬までは少なめの出荷となる見込み。栃木産は多雨と日照不足の影響で茎が細めとなり、少なめの出荷となっている。 ・出荷量が少なめと見込まれることから、価格は中旬までは高めに推移する見込み。	
		670.86	606	534	677	・入荷見込量: 350t (108) ・主産地: 岐阜(80)、北海道(10)、		
	レタス	166.6	111	163	213	・入荷見込量: 8,214t (100) ・主産地: 長野(85)、群馬(10)	・長野産は、8月下旬の降雨と日照不足の影響で病害が発生したことから、少なめの出荷となり、中旬までは少なめの見込み。群馬産は、9月前半までは少なめの出荷の見込み。 ・出荷量が少なめと見込まれることから、価格は中旬までは高めに推移する見込み。 (※トピック欄参照)	
		160.6	113	173	238	・入荷見込量: 1,900t (114) ・主産地: 長野(98)		
	たまねぎ	76.15	75	76	70	・入荷見込量: 10,330t (105) ・主産地: 北海道(84)、輸入(4)	・北海道産は、本格的な収穫の時期となり、10月中旬までは収穫作業が続く。出荷量は少なかつた前年よりは多い見込み。 ・順調な出荷が見込まれることから、価格は平年並みに移る見込み。	
		76.15	75	77	72	・入荷見込量: 3,900t (119) ・主産地: 兵庫(53)、北海道(36)		
果 菜	きゅうり	210.69	199	150	339	・入荷見込量: 7,272t (100) ・主産地: 福島(24)、埼玉(16)、茨城(13)、群馬(12)、岩手(10)、宮城(6)、秋田(6)	・福島産は8月の出荷量は多かったが、現在はなり疲れで減少している。今後も減少傾向が続き少なかつた前年並みの出荷の見込み。埼玉産は、抑制ものの出荷が開始となり、順調な出荷で平年並みの見込み。 ・福島産の出荷量が少なめと見込まれることから、価格は高めに推移する見込み。	
		221.71	213	152	340	・入荷見込量: 1,850t (105) ・主産地: 福島(29)、北海道(25)、愛媛(11)、大阪(6)		
	トマト	218.58	407	310	405	・入荷見込量: 7,027t (110) ・主産地: 千葉(21)、青森(20)、茨城(13)、福島(12)、北海道(10)、群馬(8)	・千葉産は曇雨天で日照時間が少なかつた影響で小玉傾向、少なめの出荷となっている。青森産も曇雨天の影響で小玉傾向、出荷量はピークを過ぎ減少傾向となり、今後も順次減少していく見込み。 ・出荷量が少なめと見込まれることから、価格は高めに推移する見込み。	
		271.33	382	352	386	・入荷見込量: 1,850t (138) ・主産地: 岐阜(33)、北海道(28)、岡山(12)、愛媛(7)、石川(6)		
	なす	209.55	351	200	239	・入荷見込量: 3,993t (103) ・主産地: 栃木(31)、群馬(22)、茨城(22)、埼玉(8)	・栃木産は生育が回復してきているが、下級品が多く正品率が少ない状況となっている。中旬からは出荷量が増加する見込み。群馬、茨城産は順調な出荷の見込み。 ・順調な出荷が見込まれることから、価格は平年並みに推移する見込み。	
		221.72	341	268	195	・入荷見込量: 1,450t (152) ・主産地: 徳島(29)、山梨(18)、京都(10)、大阪(9)、奈良(9)、福島(8)、愛媛(6)		
	ピーマン	263.58	357	223	193	・入荷見込量: 2,133t (103) ・主産地: 茨城(42)、岩手(33)、青森(12)、福島(10)	・茨城産は秋作の出荷が開始となり、作柄は良好で中旬から増加の見込み。岩手産は、平年並みの出荷となっているが、今後は曇雨天の影響で減少傾向となる見込み。 ・茨城産の順調な出荷が見込まれることから、価格は平年並みに推移する見込み。	
		282.16	341	235	205	・入荷見込量: 440t (109) ・主産地: 北海道(21)、福島(16)、兵庫(16)、愛媛(13)、青森(10)、大分(8)		
	根 菜	だいこん	99.58	71	63	72	・入荷見込量: 11,938t (103) ・北海道(63)、青森(27)、岩手(8)	・北海道産は肥大もよく順調な出荷となっているが、中旬までは前年よりやや少なめの出荷の見込み。青森産は順調な生育となり、平年より多めの出荷の見込み。 ・順調な出荷が見込まれることから、価格は平年並みかやや弱含みで推移する見込み。
			111.54	73	57	72	・入荷見込量: 3,600t (111) ・主産地: 北海道(66)、岐阜(12)、青森(7)	
		にんじん	129.56	119	117	120	・入荷見込量: 7,649t (108) ・主産地: 北海道(92)、輸入(4)	
			129.59	122	121	119	・入荷見込量: 2,600t (116) ・主産地: 北海道(95)	

種類	8月の価格動向				生育及び価格の9月の見通し
	(参考) 指定野菜の関東・近畿ブロック旬別平均販売価格	上旬	中旬	下旬	
い	242.66	373	316	300	・入荷見込量：1,209t (103) ・主産地：千葉(55)、宮崎(31)、輸入(6) ・千葉産は、降雨の影響で肥大が進み順調な生育、出荷となっている。宮崎産は7月の長雨の影響で生育が遅れ肥大が悪く少なめの出荷となっている。今後も少なめの出荷の見込み。 ・順調な出荷が見込まれることから、価格は平年並みに推移する見込み。
	220.11	279	257	178	
も	96.77	96	105	115	・北海道産は収穫が始まり、遅れぎみではあるが徐々に出荷量が増えており、少なかつた前年よりは多く平年並みの出荷の見込み。 ・順調な出荷が見込まれることから、価格は平年並みに推移する見込み。
	96.77	104	103	107	

1) 平均価格は、過去9年間の中央卸売市場の各指定野菜の卸売価格を物価指数で修正した価格の平均(消費税は除く)。
 2) 旬別平均販売価格の背景なしは保証基準額を上回るもの。背景ありは下回るもの(消費税は除く)。
 3) 単位は円/kg、上段は関東、下段は近畿ブロック

1) 入荷見込量は関東農政局及び近畿農政局「野菜の入荷量と価格の見通し」による。()内は前年対比。
 2) 主産地は東京都及び大阪市中央卸売市場への出荷の多い県名。()内は入荷シェアであり、関東は本年の見込み、近畿は前年の実績。
 3) コメントは、都道府県、出荷団体、都道府県野菜価格安定法人、卸売会社等からの聴取りをもとに機構が作成したものである。

2 野菜の需要動向

年	過去5か年平均		平成22年		平成23年	
	購入量(g)	金額(円)	購入量(g)	金額(円)	購入量(g)	金額(円)
1月	4,189	1,529	4,240	1,551	4,310	1,573
2月	4,391	1,544	4,461	1,574	4,267	1,629
3月	4,767	1,695	4,970	1,768	4,867	1,788
4月	4,732	1,808	4,518	1,884	4,796	1,789
5月	5,094	1,902	4,925	1,965	5,171	1,820
6月	5,033	1,880	5,026	1,907	4,904	1,857
7月	4,438	1,683	4,264	1,697	4,362	1,759
8月	4,272	1,732	4,241	1,733	0	0
9月	4,868	1,806	4,606	1,818	0	0
10月	5,314	1,849	4,994	1,959	0	0
11月	4,997	1,614	4,678	1,774	0	0
12月	5,212	1,817	5,177	1,887	0	0

資料：総務省「家計調査報告(二人以上世帯農林漁家世帯を除く)」

月	キャベツ		レタス	
	過去5か年平均	平成23年	過去5か年平均	平成23年
H23.1月	189	186	98	618
2月	173	228	132	496
3月	181	206	114	455
4月	250	195	78	464
5月	185	127	69	399
6月	159	106	67	360
7月	154	174	113	320
8月	170	118	69	493
9月	159	0	0	483
10月	158	0	0	474
11月	155	0	0	359
12月	146	0	0	442

注1：過去5か年はH18～H22の平均
 注2：8月の値は、8月中旬の速報値

資料：総務省統計局「小売物価統計調査報告」

3 野菜の輸入動向

区分	平成21年		平成22年		平成23年1～7月		平成23年7月
	前年比	前年比	前年比	前年比	前年同月比	前年同月比	
生鮮野菜	615,271	102	820,687	133	567,902	123	118
加工野菜	1,569,627	95	1,677,840	107	1,034,780	106	95
野菜輸入量合計	2,184,898	97	2,498,527	114	1,602,682	112	100
うち中国産野菜合計	1,098,415	95	1,284,449	117	797,164	114	99
中国産シェア	50		51		50		

資料：ベジ探 (原資料) 財務省「貿易統計」

品目	輸入先	(単位：トン、%)		
		(A)2010.8	(B)2011.8	(B)/(A)
たまねぎ	合計	17,041	14,733	86
	中国	16,866	14,508	86
	ニュージーランド	60	89	148
にんじん	合計	7,476	4,394	59
	中国	7,284	3,700	51
	オーストラリア	163	341	209
ねぎ	合計	4,002	3,640	91
	中国	4,000	3,638	91

資料：農林水産省「植物防疫統計」(2011.8)は、8月20日までの速報値である。

4 トピック

レタスの価格動向について

レタスの価格は、7月は低迷していたが、8月中旬から上昇傾向となり、下旬は高くなっている。これは、

① 主産地(長野)では、8月下旬の降雨と日照不足の影響で、病害が発生したこと
 ② 8月後半は作型の切り替わり等で平年でも出荷量が不安定な時期に当たることから、少なめの出荷量となっていることによる。

今後も、

① 病害の回復がすぐには見込めないこと
 ② 学校給食の開始による需要増も見込まれることから、9月中旬まで価格は高めの水準で推移するものと思われる。

レタスの卸売数量と価格の推移(23.8.1～)

東京都中央卸売市場

資料：ベジ探 (原資料) 農水省「青果物日別取扱高統計結果」

産地(長野県野辺山)の気象状況

平均気温と降水量の推移(野辺山)(23年8月)

資料：ベジ探 (原資料) 気象庁「統計データ」

●問い合わせ先 独立行政法人農畜産業振興機構 野菜需給部 需給業務課 村野、三部、須藤 TEL03-3583-9483、FAX03-3583-9484
 ◆「野菜需給・価格レポート」は月2回公表しています。公表日にメールにてお知らせしますので、ご希望の方はベジ探のお問い合わせから <https://www.alic.go.jp/form/vegetan.html>
 ★野菜ソムリエの旬ナビゲーション「ベジシャス」 http://www.alic.go.jp/v-suishin/vaiukyu01_000076.html